

＝静岡リハビリテーション合同学会＝

第60回静岡リハビリテーション懇話会

第60回記念 静岡リハビリテーション医学会との合同学会

「静岡リハビリテーション懇話会」は、リハビリテーションに関わりをもつ多くの職種間の横の交流と相互理解を図り、各分野におけるリハビリテーションの研鑽と向上を目指すことを目的とするものです。これは全国でも珍しい形で、現在では、医師、歯科医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、薬剤師など医療・保健の分野から、社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、福祉施設職員、リハビリテーション機器関連スタッフなど福祉の分野にいたる方々まで、約600名の会員により幅広い分野に携わる方々の相互理解と研鑽の場となり、有意義な会合をもつことができるようになりました。今回はさらに「静岡リハビリテーション医学会」のご協力を得て、合同で開催することになりました。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会長 望月 達夫

日時	平成30年9月1日(土) 12:50より 受付開始12:00
会場	静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」10階
世話人	坂元 隆一 静岡市立清水病院 リハビリテーション科科長 医師
責任者	小嶋 康則 静岡リハビリテーション懇話会 中部副会長
共催	静岡県看護協会 静岡県作業療法士会 静岡県理学療法士会
後援(予定)	静岡県 静岡県医師会 静岡リハビリテーション医学会 静岡県歯科医師会他
会費	会員 2000円(年会費1000円) 一般 3000円 学生 1000円

特別講演 詳細は裏面をご覧ください。

阿部 雅志 先生 藤枝市立総合病院 整形外科 医師

「膝関節の再建と温存を目指した靭帯損傷、軟骨損傷および変形性膝関節症への手術療法とリハビリテーション」(仮題)

佐々木 信幸 先生 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 准教授

「四肢痙縮と反復性経頭蓋磁気刺激治療」

勝谷 将史 先生 西宮協立リハビリテーション病院 リハビリテーション科 医師

「脳卒中患者に対する痙縮治療の実際 ～装具療法、ボツリヌス治療を中心に」

◎静岡リハビリテーション懇話会は、「日本作業療法士協会」「日本理学療法士協会」生涯教育制度単位付と対象学会・研修会に認定されています。(学会参加ポイント 10ポイント 発表ポイント 5ポイント等)「日本リハビリテーション医学会」専門医・認定臨床医生涯教育基準細則に基づく単位は認可されました。(各講演10単位)「日本医師会」の単位は申請中です。

<演題発表者および参加者募集要項> 会員以外のご参加も歓迎しています!

○懇話会参加者資格

1. 参加資格 リハビリテーションその他関連業務に従事している方ならどなたでも参加できます。
2. 申込方法 ホームページの申込フォームに必要事項を入力して送信するか、E-mail FAX等で住所・施設名・お名前・職種・ご連絡先などを お書き添えの上、お申し込みください。

○一般演題発表者 締め切り平成30年7月31日(火)

1. 演題内容 :自由課題
抄録概要を200字以上400字以内にまとめてお送りください。
締め切り後はHPなどでご確認ください。
2. 発表時間 6分(質疑応答3分)
3. 発表方法 PC(USBストレージ)推奨 容量は全体で10メガバイト以内。MACおよび動画の場合はPCお持込みとなります。
Windows Power Point 2007以上でお願いします。
4. 申込方法 ホームページの申込フォームより (E-mail、郵送も可)

※演題を発表される場合は会員のお手続きが必要です。(年会費1000円)

★お問合せ★ 静岡リハビリテーション懇話会事務局
事務局長 熊谷範夫(担当:豊田)

電話 054-237-9625 FAX: 054-237-5069
住所 〒421-1311静岡県静岡市葵区富沢1405
E-mail areanetcom@gmail.com

詳細はホームページをご覧ください

URL : <http://rehabili.godream.ne.jp/konwakai.html>

第60回静岡リハビリテーション特別講演等概要

○特別講演 静岡リハビリテーション医学会 10階1002号室

阿部 雅志 先生 藤枝市立総合病院 整形外科 医師 14:00～15:00

「膝関節の再建と温存を目指した靭帯損傷、軟骨損傷および変形性膝関節症への手術療法とリハビリテーション」(仮題)

膝関節の再建法として前十字靭帯損傷では長方形の骨孔を用いた膝蓋靭帯での再建を中心に行い、広範囲の軟骨損傷には再生医療である自家培養軟骨細胞移植を行っている。さらに、関節温存による膝関節再建のため、変形性膝関節症に対し骨切り術を行っている。関節温存ができない症例は人工関節を選択するが、関節温存手術で対応できる症例も増えている。また、靭帯再建、軟骨移植、骨切りを組み合わせた手術も行っている。このような手術療法とリハビリテーションについて報告をする。

佐々木 信幸 先生 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 准教授 15:10～16:10

「四肢痙縮と反復性経頭蓋磁気刺激治療」

反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)は脳局所を非侵襲的に刺激することで、その活動性を賦活または抑制する技術であり、脳卒中に対する治療的応用が期待されている。慢性期上肢麻痺に対する有効性については既に広く知られているが、下肢麻痺、失語症、アパシーなど様々な症状に対する有効性が明らかにされており、さらに急性期にはその有効度が高いことも判明している。また、麻痺に対するrTMSには痙縮改善効果もあるため、ボツリヌス毒素注射による痙縮治療との相乗効果も認められている。

上記受講料 日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医研修単位(各10単位) 希望者 1講演につき2,000円
日本整形外科学会 単位 1講演1単位
日本医師会生涯教育単位のみ、または聴講のみ 1,000円 メディカルスタッフ 500円

○特別講演 静岡リハビリテーション懇話会 10階1001-2号室

勝谷 将史 先生 西宮協立リハビリテーション病院 リハビリテーション科 医師 16:20～17:20

「脳卒中患者に対する痙縮治療の実際 ～装具療法、ボツリヌス治療を中心に」

脳卒中患者にとって痙縮は生活を阻害する様々な現象を引き起こす。痙縮治療において、装具療法やボツリヌス治療は治療者にとって大きな武器であり、私達リハビリテーション医療に従事する職種は装具療法やボツリヌス治療の効果を知り、それらの基本的な治療方法に対して理解を深めておく必要がある。しかしながら装具療法のエビデンスは十分なものではなく、装具の使用方法については教科書的な記述も少ないため、実際の装具療法は臨床の中での経験に大きく左右されている。またボツリヌス治療も一般的な治療として徐々に広まってきてはいるものの、施注後の運動療法や装具療法なども考慮して提供されていない為に十分な効果が出ず、単発的な施注で終わってしまうケースもあると聞く。本講演では痙縮治療の実際を症例を交えながら紹介し、装具療法、ボツリヌス治療を中心に述べていく。

上記受講料 日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医研修単位(10単位) 希望者 1,000円
静岡リハビリテーション懇話会の受付(会員2000円・一般3000円)を通られた方は無料です。

◎静岡リハビリテーション懇話会は、「日本作業療法士協会」「日本理学療法士協会」生涯教育制度単位付と対象学会・研修会に認定されています。(学会参加ポイント10ポイント 発表ポイント5ポイント等)「日本リハビリテーション医学会」専門医・認定臨床医生涯教育基準細則に基づく単位は認可されました。(各講演10単位)「日本医師会」の単位は申請中です。



静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」
〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
TEL 054-203-5710(代表)